褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書

	標瘡の有無(男べてに○〕 態、重度の末梢循環 酔下、特殊体位)、	不全、麻薬等の鎮痛	評価者名 褥瘡の有無(過去)有・無
診 断 名: 褥瘡ハイリスク項目〔該当す・ ベッド上安静、ショック状) 6時間以上の手術(全身麻 GVHD、黄疸等)、医療 褥瘡の多発と再発	標瘡の有無(男べてに○〕 態、重度の末梢循環 酔下、特殊体位)、	混在) 有・無 不全、麻薬等の鎮痛	褥瘡の有無(過去)有・無
褥瘡ハイリスク項目〔該当すーベッド上安静、ショック状〕 6時間以上の手術(全身麻 GVHD、黄疸等)、医療 褥瘡の多発と再発	べてに○〕 態、重度の末梢循環 酔下、特殊体位)、	不全、麻薬等の鎮痛	
ベッド上安静、ショック状 6時間以上の手術(全身麻 GVHD、黄疸等)、医療 褥瘡の多発と再発	態、重度の末梢循環 酔下、特殊体位)、		f・6値静剤の持続的な使用が必要。
	TEO]	持続的な使用(医療	極度な皮膚の脆弱(低出生体重児、 様用弾性ストッキング、シーネ等)、
床上で自立体位変換ができ	ない、いす上で座位		、病的骨突出、関節拘縮、栄養状態
低下、皮膚の湿潤(多汗、 褥瘡の発生が予測される部位			
正面 左側面 右側			
		重点的な褥瘡が	アの必要性
		褥瘡管理者名	要 • 不要
褥瘡予防治療計画 〔褥瘡	ハイリスク患者ケ	アの開始年月日	年 月 日〕
褥瘡ケア結果の評価 〔褥	瘡ハイリスク患者	ケアの終了年月日	年 月 日〕